

所沢市新型コロナウイルスワクチン接種計画

【1.0 版】

令和3年4月14日

所沢市健康推進部保健センター健康管理課

目次

1	目的	3
2	実施期間	3
3	ワクチンの接種順位、接種時期の見込み	3
4	接種対象者及び接種対象者の概数	3
5	接種回数	3
6	接種体制	4
7	ワクチン量に応じた対応	4
8	高齢者施設等の接種	5
9	冷凍庫の配置	6
10	送迎バスの運行	6
11	予約方法	6
12	障害者等への合理的配慮	6
13	広報・周知	6
14	副反応への対応	7

改版履歴	発出日	改訂内容
1.0 版	令和3年4月14日	初版

1 目的

新型コロナワクチンの臨時接種について、予防接種法及び実施要領等に基づき、所沢市（以下「本市」という。）の住民に対して、安心、安全、迅速に予防接種を行うことができるよう、この実施計画を策定する。

なお、本計画は、接種体制の状況等を踏まえ、必要に応じて見直すものとする。

2 実施期間

ファイザー社のワクチン：令和3年4月19日の週から令和4年2月28日まで

3 ワクチンの接種順位、接種時期の見込み

ワクチンの供給状況により変更となる。

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| (1) 医療従事者(県が実施主体) | 令和3年3月～ |
| (2) 高齢者施設入所者等(指定した施設から開始) | 令和3年4月19日の週～ |
| (3) 65歳以上の高齢者(予約制) | 令和3年5月～ |
| (4) 基礎疾患のある者、高齢者施設等従事者(予約制) | 令和3年6月以降(未定) |
| (5) 上記以外の者(予約制) | 未定 |

4 接種対象者及び接種対象者の概数

接種対象者：接種当日に所沢市に住民基本台帳に記録されている者

対象者	対象者数	備考
医療従事者(県が実施主体)	10,300人	人口の3%(国が示した割合)
65歳以上高齢者	97,500人	昭和32年4月1日以前生まれ
基礎疾患を有する方	27,800人	全国で1,030万人から人口比率で算出
高齢者が入所、居住する施設等の従事者	6,000人	人口の1.5%(国が示した割合)に在宅サービスの従事者を追加
上記以外	203,400人	
総人口	345,000人	
上記の内、16歳未満	43,000人	

※ファイザー社のワクチンは16歳以上が対象

5 接種回数

ファイザー社のワクチンを使用し、市が主体となって実施する高齢者、基礎疾患を有する方、高齢者施設等従事者向け優先接種の想定接種回数は以下のとおり。

65歳以上高齢者、基礎疾患を有する方、高齢者施設等従事者の総数 131,300人

想定接種率：70%

接種見込み人数：約91,910人(183,820回)

個別医療機関(73カ所) 接種見込み数:6割(110,000回)	集団接種(2カ所) 接種見込み数:4割(73,820回)
-------------------------------------	---------------------------------

6 接種体制

本市では、かかりつけ医等による個別接種を基本としつつ、集団接種との併用により接種を実施する。開始時期はワクチン供給状況により変動する。

(1) 個別接種医療機関(別紙)

基本型接種施設:18施設

サテライト型接種施設:55カ所

※基本型接種施設にディープフリーザーを設置し、サテライト型接種施設にワクチンを小分けする。

(2) 集団接種

以下2会場で実施する。

① 市民体育館 メインアリーナ

・実施期間:令和3年5月下旬～7月(水～日)

・実施時間:9～16時(接種後の状態観察16時30分まで)

・医療従事者:所沢市医師会の医師、看護師、所沢市薬剤師会の薬剤師
所沢市保健センターの看護師、保健師等

・最大1,600人/日

② 保健センター 多目的ホール

・実施期間:令和3年5月中旬～(月～金)

※終了時期はファイザー社のワクチンの供給状況等による

・実施時間:9時～16時(接種後の状態観察16時30分まで)

・医療従事者:所沢市民医療センターの医師、看護師等

・最大320人/日

7 ワクチン量に応じた対応

ワクチン供給量が少ない場合、高齢者の年齢を細分化して、クーポン券の郵送を行う。

No	1週間あたりの供給量	実施方法	ワクチン移送
①	1～3箱	・市、医療機関、高齢者施設等において調整ができた施設について施設内で入所者・従事者の接種を実施	保健センターから施設内接種を行う医療機関へ移送

No	1週間あたりの供給量	実施方法	ワクチン移送
		施。	
②	4～18箱	・高齢者施設等の施設内での接種を引き続き実施 ・基本型接種施設及びサテライト型接種施設、保健センター会場にワクチン量に応じて配分。(ディープフリーザー配置済み施設優先。)	基本接種型施設からサテライト型接種施設へ移送(ディープフリーザーが未設置の施設及びそのサテライト型接種施設については、保健センターから移送を検討)
③	19箱	・基本型接種施設、保健センター会場に1箱ずつ配分。	基本接種型施設からサテライト型接種施設へ移送
④	20箱以上	・基本型接種施設、保健センター会場、市民体育館会場に1箱以上配分。	基本接種型施設からサテライト型接種施設へ移送

8 高齢者施設等の接種

高齢者施設等の入所者及び従事者の施設内での接種について、可能な限り、通常、診察や予防接種等を行っている医師が接種を行えるよう調整をはかる。

(1) 高齢者施設等における接種

65歳以上の高齢者が入所、入居している施設

	施設数	施設内接種を必要とする65歳以上の入所者数	同時接種を希望する従事者数
介護保険施設等	44	2,426	1,727
老人福祉法による施設等	37	1,498	987
障害者支援施設等	33	2	0
生活保護法による保護施設等	4	0	0

※施設内接種を行う施設の従事者は同時に接種を受けることができる。

(2) 在宅で訪問診療を受けている者の接種

訪問診療を行っている医師が接種を行うことができるよう必要な調整を行う。

9 冷凍庫の配置

マイナス 75 度超低温冷凍庫 24 台（ファイザー社ワクチン用）

医療従事者向け接種施設 4 カ所、住民接種向け基本型接種施設 18 カ所
所沢市民医療センター、保健センターに設置。

10 送迎バスの運行

集団接種会場への移動手段として送迎バスを運行する。

いずれも 20 分間隔程度で運行する。

- ① 新所沢駅 ⇄ 所沢市民体育館 車いすで乗車できる大型バス
- ② 所沢駅 ⇄ 保健センター 中型バス

11 予約方法

市独自の予約システムを導入し、集団接種会場、個別医療機関の予約受付を行う。

接種券が届いたら予約が可能となるが、混乱のないよう、ワクチン供給量により接種券を送付する年齢を区切る。

- ① 予約システムに参加している個別医療機関、及び集団接種会場の予約の空き状況が LINE、Web、コールセンターで確認できる。
- ② 予約は、コールセンター、LINE、Web、医療機関へ電話、いずれかの方法で行う。
- ③ 予約システムに参加していない医療機関については、医療機関ホームページまたは直接電話で予約を行う。

12 障害者等への合理的配慮

障害者等への情報保障や合理的配慮の提供に努める。

- ・個別通知に点字シールを貼付
- ・広報、ホームページに手話動画を掲載
- ・集団接種会場に多言語（手話含む）遠隔通訳タブレットを設置
- ・コールセンター（相談、問い合わせ、予約）の FAX、メールアドレスを周知
- ・集団接種会場に筆談ボードを常備
- ・集団接種会場（市民体育館）への移動手段として車いすが乗車できるバスを運行

13 広報・周知

対象者への個別通知のほか、広報紙、市ホームページ、ほっとメールにより予防接種開始時期、医療機関一覧、接種の流れを周知する。また、副反応に関する情報、ワクチンについての情報提供を行う。また、必要に応じ、公共施設等へのポスター掲示、防災無線の活用等を検討する。

14 副反応への対応

(1) 相談体制

- ・接種後に「新型コロナワクチンの接種を受けた方へ」を配布。
- ・副反応が生じた場合、接種医、かかりつけ医に相談、または県設置の専門相談窓口で相談を受ける。

埼玉県専門相談窓口：電話0570-033-226

FAX048-830-4808

(2) 健康被害について

接種によるものと考えられる健康被害が生じた場合は、健康被害救済給付の申請を行い、国が接種による健康被害と認定したときは救済給付を受けることができる。